

No.220から続く

## 消費者運動

高度経済成長以降、発達した科学技術によって大量生産された商品が市民生活の大半を支えるようになると、生産、流通、消費、廃棄のメカニズムのなかで、安全で健康的で合理的な消費生活を創造し、消費者本位の商品が供給される社会の確立を旨として消費者が団結して運動するようになった。これが【1: 】である。運動の具体的内容としては、商品テスト ※1 に基づいた品質や価格に対する抗議運動、消費者の安全と健康を害する商品の禁止・不買・告発運動、環境を汚染する廃棄物に反対する運動、消費者の立場にたった商品供給機関の創設運動、生産者と消費者を直接的に結び付ける共同購入運動 ※2 などがある。

※1 2016年のNHK朝ドラ『とと姉ちゃん』は高視聴率を記録した。モデルとなった婦人誌『暮らしの手帖』（ドラマ中では『あなたの暮らし』）が1954年から、実際に苛酷な商品テストを行ってきたのは、社会がそれを求めていたからである。高畑充希が演じるヒロイン・小橋常子のモデルとなった大橋鎮子（しずこ）は府立第六高等女学校の卒業生。現都立三田高校である。

※2 生活協同組合の原点はここにある。今や生協は大手スーパーに負けない立派な店舗と戸別宅配システムを持つ大企業であるが、扱う商品の安全性チェックなどで営利企業とは一線を画している。

## フェミニズム

1970年代 ※3 に起こった女性解放運動。ウーマン・リブ運動とほぼ同じもの（No.207参照）。社会的につくられた「女らしさ」、更にはその上に位置する政治・経済・社会・文化の総体を批判の対象にした。

※3 『世界史B用語集』は1960年代半ばとしている。

## 「ワーク・ライフ・バランス」なるもの (英: work-life balance)

- 1) 「ワーク=ライフ=バランス」とは、「仕事と生活の調和」と訳され、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことを指す。仕事のために他の私生活の多くを犠牲にしてしまう【2: 】（ワーカホリック）状態となり、心身に疲労を溜め込みうつ病に代表される精神疾患を患ったり、過労死や自殺に至ったり、家庭を顧みる時間がなくなることで家庭崩壊に陥るなどの悲劇を生む事例が後を絶たなくなった。これらを両立するには、仕事と生活のバランスを取ることが必要で、仕事と生活のバランスを崩したことで起こる悲劇の急増は、出生率低下・少子化に繋がり、人口を減らす原因ともなりうる。
- 2) 日本では少子化対策・男女共同参画の文脈で語られることが多いが、2007年、政府、地方公共団体、経済界、労働界の合意により、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」が策定され、政府は、国民運動「カエル! ジャパン キャンペーン」を開始したが、そんなものは誰も知りもしない。日本は国際労働機関の【3: 】に関する条約（1号[6]、30号[7]、153号[8]など）を1つも批准しておらず、時間外労働の要請条件さえ満たせば労働時間の上限はなくすることができる（労働基準法第33条第1項、第33条第3項、第36条第1項）。時間外労働の条件として残業代（割増賃金）を支払うことが法律上必須（労働基準法第37条第1項）とされ、これを支払わない使用者に適用される罰則も規定されている（労働基準法第119条）が、サービス残業が横行する事業所もあり、さらには休曜日数も少なめで、年次有給休暇の取得率が他先進国よりも著しく低い。有給休暇に関する条約（132号）も日本は批准していない。それらの最も極端な例、いわゆる「ブラック企業」は例外的にはなく広範に存在し、政府の本気度が問われている。アメリカでさえ、ある調査によれば、男性労働者が89%、女性は87%の割合で、ワークライフバランスの実現について不可能と回答した。また、企業が労働者に対して用意しているワークライフバランスを実現するためのプログラムについて、98%もの労働者が効果がないと回答している。

## 「多文化共生」

- 1) 多文化共生とは「国籍や【4: 】などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと（「多文化共生の推進に関する研究会報告書」平成18年3月総務省より）」を指す最新流行の概念であり、背景には、先進国では少子化が進み、発展途上国から労働者を受け入れざるをえないという現実がある。
- 2) 異文化を尊重し、さまざまな文化的背景をもつひとびとがともに平和に暮らしてゆける社会の実現を要請する多文化主義は、多くの国民国家に受容された政治思想だが、文化的衝突は多文化主義政策によっても根絶できない。ドイツのメルケル首相は、2010年、多文化社会を創出しようという政策は「まったくの失敗だった」と宣言した。多文化主義は、さまざまな民族的・国家的背景をもつひとびとを、特定の民族・国家的な文化の体現者として見做してしまうからだ。それゆえにタイから来たひとびとは、代を重ね完璧な日本語と日本の習慣を身につけていても、「いわゆる」タイ文化の代表者とみなされて、多文化フェスティバルにはグリーンカレーを持ってくるよう、いつも期待されてしまう。このような多文化主義は、「わたしたち」と「彼ら」、国民と外国人との境界線を創りだし、「わたしたち」以外のひとびとは、決して「わたしたち」になれない。「多文化共生」という概念は、むしろ国粹主義と親和度が高いのではないだろうか。
- 3) 日本は、アメリカ合衆国とは程度が異なるだけで、既に多文化的諸個人によって構成される多文化社会なのだとはっきり認識すべきで、幼い頃から、家庭や学校でこのような教育を開始すべきではないだろうか。ましてや、東南アジアから研修来日した若い女性に驚くべき薄給で老人のケア仕事をさせるような国が「多文化共生」を口にする資格があるのだろうかという意見もある。

【1】2012 松山大学 (抜粋)

C 19世紀の欧米では、自然科学が著しい発展をとげた。とくに、世紀後半には、その成果が産業に応用されてめざましい技術革新をもたらし、社会生活のあり方でも大きく変えはじめた。

物理学の分野では「キ」やヘルムホルツが熱とエネルギーをむすびつけるエネルギー保存の法則を発見し、熱力学の発展に道を開いた。ファラデーの実験のち、電磁気学が体系化され、19世紀後半から多方面で応用された。モールス、ベルやエディソンの発明(e)による技術革新は、情報伝達の速度と密度を大きく変化させることになった。レントゲンによるX放射線と、キュリー夫妻によるラジウムの発見は、20世紀の原子物理学の端緒となった。生物学では「ク」により遺伝の法則性が発見され、ダーウィンの自然淘汰理論は社会科学にも大きな影響を与えた。医学でもパストゥールやコッホ(f)によって細菌学が発達し、伝染病の治療法や予防法を確立できるようになった。

自然科学がめざましい発展をとげた19世紀後半から20世紀はじめには、科学による社会の進歩に信頼を寄せ、進歩の概念が人々の心をとらえた。科学技術の進歩(g)は人類に大きな恩恵をもたらす半面、軍事技術の発達と結びついて、大量破壊兵器(核兵器など)を生み出したが、軍事目的のネットワークからコンピューターが世界規模で結合するインターネットも発展した。こうした科学技術の発展は産業や軍事、各地域や各国の文化にも大きな影響を与えた。

- 11) 文章中の空所「キ」に入る人物名として正しいものを、次の中から1つ選べ。 11
- ① マイヤー      ② ダイムラー      ③ マルコーニ      ④ ディーゼル
- 12) 下線部分(e)について、エディソンの発明として**あやまりのあるもの**を、次の中から1つ選べ。 12
- ① 電灯      ② 映画      ③ 飛行機      ④ 蓄音器
- 13) 文章中の空所「ク」に入る人物名として正しいものを、次の中から1つ選べ。 13
- ① ハーヴェー      ② リンネ      ③ リービヒ      ④ メンデル
- 14) 下線部分(f)について、この人物について述べた文として**あやまりのあるもの**を、次の中から1つ選べ。 14
- ① 結核菌を発見した。      ② 種痘法を開発し、予防接種という方法を始めた。  
③ コレラ菌を発見した。      ④ ツベルクリンを創製した。
- 15) 下線部分(g)について、20世紀の科学技術について述べた次のa～cのうち、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥から1つ選べ。 15
- a 世界初の人工衛星の打ち上げにソ連が成功した。  
b ロンドン放送局がテレビジョン放送を正式に行った。  
c 核分裂反応を利用した原子爆弾がアメリカで開発された。
- ① a→b→c      ② a→c→b      ③ b→a→c      ④ b→c→a  
⑤ c→a→b      ⑥ c→b→a

11) ① 12) ③ 13) ④ 14) ② 15) ④

【2】2012 関西大学 (抜粋)

(B) 20世紀の科学は、アインシュタインの( 4 ) { (ア) 質量保存の法則 (イ) 相対性理論 (ウ) 生命工学 } によって大きく革新され、医学分野では( 5 ) { (ア) ペニシリン (イ) アスピリン (ウ) DNA } の発見によって、抗生物質が広く用いられるようになった。交通技術の面ではライト兄弟による( 6 ) { (ア) プロペラ飛行機 (イ) ロケット (ウ) ジェット機 } が発達した。

(B) 4 (イ) 5 (ア) 6 (ア)

【3】2012 関西学院大学 (抜粋)

- ⑧ 医学の成果で、20世紀にはじめてなされたものはどれか。
- a. 狂犬病予防接種の開発      b. 種痘法の確立  
c. コレラ菌の発見      d. ツベルクリンの創製  
e. 抗生物質の発見

⑧ e

【4】2006 慶應義塾大学 (抜粋)

戦争はたびたび自然環境や文化財を破壊した。アメリカ合衆国が( a )の際に散布した枯葉剤は、森林を破壊しただけでなく人体にも深刻な影響を及ぼした。中国の円明園は( b )の際にイギリスとフランスの軍隊によって破壊された。一方で、戦争を題材にした芸術作品も多い。シラーは、( c )で活躍した傭兵隊長を主人公にした『ヴァレンシュタイン』を、トルストイは、( d )を背景にした『戦争と平和』を執筆した。ヘミングウェイは、自らが国際義勇兵として参加した( e )を舞台とする『誰がために鐘は鳴る』を発表した。絵画では、ピカソの「ゲルニカ」が、( f )における小都市ゲルニカの破壊に対する抗議がこめられた作品として名高い。

1. アヘン戦争      2. アロー戦争(第2次アヘン戦争)  
3. 三十年戦争      4. スペイン内戦  
5. 第二次世界大戦      6. ナポレオンのロシア遠征  
7. 南北戦争      8. ベトナム戦争

問16 下線部Bに関する次の1～4の事項を年代順に並べかえ、年代の古い順に解答欄の左から記入しなさい。

1. アメリカ合衆国で最初の大陸横断鉄道が完成した。  
2. 抗生物質の一つであるペニシリンの量産がはじまった。  
3. リヴァプールとマンチェスターの間に鉄道が開通した。  
4. ロンドン万国博覧会の会場として、水晶宮(クリスタル・パレス)が建設された。

問15 (a) 8 (b) 2 (c) 3 (d) 6 (e) 4 (f) 4 問16 3-4-1-2